

# 日本政策金融公庫からの融資

## どこに申し込めるのか？

公庫には3つの事業がある。

国民生活事業：小規模事業者向けの融資

中小企業事業：中小企業向けの融資

農林水産事業：農林水産事業者向けの融資

↑ ↓ (融資希望額 4,000万円超、年商5億円超)

※ 融資対象外の業種あり。

銀行業、損害保険業、風俗、更生保護事業 他

## 申込に必要な書類の準備

個人か法人か、初めてかすでに公庫の借入があるかによって違う。

インセン 9/30 記事  
書生はブログ参照

(例：個人で初めての申込)

借入申込書、創業計画書、企業概要書、確定申告書(2期分)、関連企業の確定申告及び決算書  
見積書(設備資金の場合)、納税が分かるもの、事業にかかると許認可証など + 事務所賃貸契約書

※ 担当者は、創業計画書と企業概要書を見て、自身で仮説を立てたうえで面談に臨んでいる。

## 申込

郵送又は持ち込みで申込書類を提出(不備があるか心配なら持ち込み)。

↓

書類に不備がなければ、面談の日程調整のための電話がかかってくる。

## 面談

1~1.5時間かかる。

追加で提出を頼まれる書類あり。内容はブログ参照。

(面談の流れ)

雑談 → 追加書類の確認 → 借入申込書の確認(金額や返済期間、据置期間の根拠等)  
→ 決算書(大きく金額が動いているとこをマーク) → 実地調査の日程調整

※ 面談後に追加資料の依頼 or 電話での追加ヒアリングがあると思っておく。

・日本政策金融公庫融資のメリット・デメリット

[メリット]

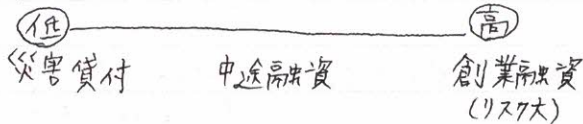
- ・銀行より早い
- ・民間金融機関の呼び水(信用を得る)
- ・比較的審査のハードルが低い
- ・無保証での融資が受けられる

[デメリット]

- ・財務内容で金利が変化しない
- ・初めての申込だと提出書類が多い
- ・担当者のレベルにバラツキあり(運)

・金利が決まる4つのポイント

1. 制度



2. 特別利率を適用できるか

適用できる特別利率があるなら、担当者も適用しなければならぬ。

3. 担保の提供や連帯保証の加入があるのか?

法人の場合、代表者による連帯保証を外すと+0.2%

4. 返済期間

返済期間が長いほど、未回収のリスクが生じるので、金利が高くなる。

・創業前に最低限準備した3つのポイント

1. 業界経馬券(5年くらいはほしい)

2. 自己資金(期間をかけてコツコツ貯めたもの)(20%が最低限)

3. 個人信用情報(各種ローン、クレジットカード等の支払い振り)

・面談よりも書類が重要

なかでも「創業計画書」「企業概要書」

・法人と個人で借りやすさは同じ。(株式会社と合同会社も同じ)